



F u - Z i n



第4回

**祭り童子集まれ！
楽文コンテスト**

各賞受賞作品発表!!

第8号

平成16年11月発行

各賞受賞作品発表!!

博多祇園山笠振興会賞

「博多の伝統 山笠」	博多小学校 五年	中洲未来
「中学生になつての山笠」	博多中学校 一年	白石大和
「伝統を受けつゝ博多の心」	博多中学校 一年	山本沙耶
「山笠を終えて」	博多中学校 一年	増永麻衣
短歌部門	博多中学校 二年	木原万里佳

NTTドコモ九州賞

「応援を支えに」	香椎第三中学校 一年	穴井飛鳥
「受け継がれ続ける山笠」	博多中学校 一年	与田万紗子
「若手とかき手」	博多中学校 一年	中村洋介
「最初で最後の女子参加」	博多中学校 三年	山木麻耶
俳句部門	博多中学校 三年	持田愛香

毎日新聞社賞

「家族で楽しむ博多の祭り」	博多小学校 四年	岡部友里奈
「追い山」	南当仁小学校 四年	平野皓巳
「まつり、山笠」	南当仁小学校 四年	諸岡 郁
「若手入りをして学んだこと」	博多中学校 一年	森下優史
「福岡の祭り」	原中央中学校 二年	坂口直明

NPO博多の風賞

「山笠」	博多小学校 五年	金 草緑
「若手の初体験」	博多中学校 一年	白垣耕平
「つらかった追善山」	博多中学校 一年	松井勇太
「祭りが育てる博多」	博多中学校 一年	藤瀬香緒里
「山笠」	博多中学校 三年	若松雄真

博多祇園山笠振興会賞

博多の伝統 山笠

●博多小学校 五年

中洲 未来

太鼓の音が「ドン」と鳴って、山をかつぐ人の「やあ」という声が響きわたりました。私は、山笠が大好きで小さいころには出ていましたけど、このくらい大きくなると、毎年水かけをしています。今年は、西流が一番山で、勢いよくがんばっています。七番山まであるから、全て見ていました。中にははっぴに血が肩からにじんでいた人もいました。それだけ、肩に力を入れたのかついでいるのが分かります。私は、こんなにも、博多の伝統を受け継ぐ、という気合いが入っていたので私も負けていられません。バケツを持って、水をくみ、がんばって走っている人達に水をかけてやりました。おかげで足や服はビショビショで、「気持ちがいいな。」と思いました。私のお父さんは、東流です。昨年にも良いタイムを取り、みごと一位をとりました。今年も榎田入りではタイムが一番早かったです。やはり、一番山

の西流が一番になったからこそ、気合が入っており、全コース、一番早かったです。どれも一番楽しみだったのですが、最後のかざり山が動く山、八番山の上川端も楽しめました。名前は忘れたけど表は、けむりの出る方で、うらは「しばらく」でした。私は、どちらかというと、表の方が、はくりよくがあつて好きでした。さすがに重くて、時間がかかっていたけど、かっこよかったです。山笠は、私の心の中で「感動し、人々の心を笑わせてくれる祭り」だと思っています。七月九日から七月十五日、たった短い月日だったのですが、ぶじに終わる事ができました。今年は、豊かで観客がたくさん集まった博多の町になれて私はいれしかったです。私もいつかは、ごりよんさんになって、温かく見守ってあげたいと思います。

中学生になつての山笠

●博多中学校 一年

白石 大和

はくは、今年初めて若手になりました。若手の主な仕事は、食事の準備やビールつぎ、後片づけに風呂洗いなどの様ざまな事

があります。ほくは、若手に入

った時

「失敗などしたら大人の方にお
こられる」という不安ばかり持
っていました。だから、直会の
時もビールをつぎに行かないで
ビールの栓を開けているだけで
した。そんな時にはくは追い山
で水にないという大事な仕事を
もらいました。最初の内は大人
の方の言う事を聞いて動いてい
ただけだったけど、だんだん楽
しくなってきたととてもいい経験
でした。

伝統を受けつぐ博多の心

●博多中学校 一年

山本 沙耶

私が住む博多の町には、た
くさんのお祭りがあります。そ
のなかで、今年、最も変化があ
ったのは、博多祇園山笠です。
実際に出てはいないけれど、立
場が変わってきているのです。
中学生になり、男子は、大人
山にできるようになります。女子
はこりよんさんとなり、山笠を
支えていく形になります。今
年はまだ、そういう立場じゃな
いけれど、奉納おどりという、
山笠を奉納する行事に出まし

た。

小学校では出る機会が少な
く、出る事が出来ませんでし
た。しかし、中学生になり、女
性として山笠に参加する事が
出来たことが本当に良かった
と思っています。

実際の事を言うと、小学校
の時はただ見ているだけで、何
の気持ちもなかったし思いも
ありませんでした。けれども、
中学生になると、山笠に自然
と関わりなくちゃいけなくなっ
て、これが伝統なのかなと思
いました。男子は男子として山
笠の伝統を守っていくけど、女
子も女性として山笠に参加で
きたらいいなあと思いました。
他の地区にはなく、博多に
しかない祭、

「博多祇園山笠」

をこれからも大事に続けてい
ってほしいと思います。そのた
めには、男子が山をかつぐのも
大切だけど、私達も、山笠を支
えるこりよんさんとなり、博多
の伝統を受けつぎ、博多の伝
統を大切にしていきたいなあ
と、思いました。

来年も、何らかの形で山笠
に参加できるといいと思いま
す。

山笠を終えて

●博多中学校 一年

増永 麻衣

私は、今年の山笠でいままで
やったことのない、初めてのこ
とをいろいろ経験しました。

その一つは奉納おどりで
山笠が無事に終わりますよう
に……という願いをこめて、地域
の方々と一緒に榎田神社でお
どりました。みんなでおどって
楽しかったし、山笠が無事に
終わってくれたのでよかったです。
また、一緒におどってくだ
さった地域の方々のとても真
剣におどっている姿を見て、あ
れほど山笠への思いが強いの
だなあと感じました。私もこ
の地域の方々のようになりた
いなあと思いました。

二つめは、お母さん達の手伝
いです。山笠に出た人のご飯
をつくったり、お皿を洗ったり
いろいろと大変です。それに、
山笠に出た人がご飯を食べて、
私たちがそれを片すけからし
か、私たちはご飯が食べないの
でとてもおなかがすきます。で
も、山笠の主役は男の人たちで
す。女の人たちは、そのお手伝
いをするのが役目です。だから

がんばって働きました。がんば
って働いたあとに食べるご飯
はとてもおいしかったです。そ
れに地域の方々といっしょに
働いて、ご飯を食べるなんて、
本当になかなかできないことな
ので、とても楽しかったです。

あと、ここでも男の人、女の
人、それぞれのがんばっている
姿を見ることができました。

このような経験は中学生だ
からこそできたんだと思いま
す。小学生の時と立場が変わ
って大変な所もありますが、と
ても楽しいです。それに、地域
のいろいろながんばりを見るこ
とができました。

今年の山笠はいろいろと楽
しかったです。来年もがんばり
たいです。

●博多中学校 二年

木原 万里佳

山笠が

終わるまでは

はじまらぬ

博多の男の

今年の夏は

追い山

●南当仁小学校 四年

平野 皓巳

ぼくは、走った。

ヒヒにつかまらないように。

ヒヒは、けむりをはきながら、

かざりの山にのっかって、

体をくねらせ、おいかけてくる。

ヒヒは、プシューとほえていた。

ころべばあいつにつぶされる。

走った走った、走りに走った。

家族で楽しむ博多の祭り

●博多小学校 四年

岡部 友里奈

私が住んでいる町博多は、
祭りが多いです。とくに七月
は山笠のじきです。もう六月
になると、当番はつびを着て
ゲタをならしながら町を歩き
ます。お父さんは、

「料理にキュウリは入れるな。」
と言います。その理由は、キ
ュウリの切り口が、くし田神
社のマークにているから山
笠の期間は食べたらいけない
そうです。だけど、私とお母

さんは、「あーおいしい」とバクバク食べています。

またお父さんは、山が近づくと大黒流れの人たちと屋台のみにいきます。山笠は男の祭りと言いますが、私も、山笠が大好きです。

お母さん達はエプロンをして、百人分ぐらいのごはんを、作ります。楽しくおしゃべりしながら、みんなで手分けして作ります。私も、おはしやコップをならべたり、後片づけを手伝います。

大変だけど、とっても楽しいです。私も、もつと小さい頃は、しめこみをして流れについて走っていました。

若手のお兄ちゃん達がいつもやさしく面どうを見てくれました。走ってクタクタになっても、つめしよにもどって、みんなごはんを食べるのがサイコーです。

町のいろんな所に水がためておいてあります。走って来る山に力強くかけます。子供達は水を頭からかぶったり水遊びを、しますがおこられませんか。水しぶきや大人達の、「オイサオイサ」というかけ声に私もワクワク

します。たいこの音も大好きです。

お母さんは、ごはんの当番など、「あーもう大変」と言っていますが、けっこう楽しんでやっています。

山笠は男の人だけの祭りじやなくて私もお母さんも家族みんなで、楽しめる祭りです。もうすぐ山笠楽しみです。

まつり、山笠

●南当仁小学校 四年

諸岡 郁

ほくの、祭りがやってきた。今年で二度目の山笠。山笠は男の祭だ。

去年は、おしりをだすのがはずかしかった。今年は、しめこみをしたらやる気がでた。夜も全然ねむくない。真夜中にみんなで校庭を走った。「オイサツ」のかけ声にまたまたやる気がでてきた。空を見上げたら、夏の

大三角の星が見えた。ぼくたちの山は、八番山。おにが口からけむりをはく。すこい、はく力。八番山の先走りだに、せい道を回る。ころばないように、一生けん命走った。去年より水をいっぱいかけられた

けど、寒くなかった。

空が明るくなってきた。もうすぐゴール。ほくの祭りが終わる。ぼくたちの八番山が商店街にもどっていった。来年の夏、来年の山笠が楽しみだ。

若手入りをして学んだこと

●博多中学校 一年

森下 優史

僕は今年、若手入りをしました。子供として参加していた時と一番違ったのは自分たちが憧れていた山につけることです。

僕は、今年から山につけるということでとても嬉しくて、待ち遠しかったです。最初は後押しでした。一回目に入る時はとても緊張しましたが、同じ町内の人から声をかけてもらったりしてうまくいきました。そして、追山ならしの時も後押しでした。タイムを本番(追山)と同じようにはかっていたのでとても緊張しました。そして次の日の集団山見せでは僕の初腕章で水当番でした。山がとても速くて、とてもきつかったけど山についている人はもつときついんだからと自分に言い聞かせてがんばりました。また、他の町内の

水当番の人から背中を押したり言葉ではげましたりしてもらい、そのおかげでがんばれました。その人は声を大きく出して、全力疾走で走り、山に水をかけると水をくんで……。そのくり返してました。とてもすごいと思いました。僕は、その人がとてもかっこいいと思いました。そして次の日流れ昇きで今日は、赤手拭の方から「お前、今日昇いてみらんや？」と聞かれて、すく「はい。」と返事をしました。でも山が動き始めると、とても速くて、なんでこんなことができるのかな？と本当に思い、いざ入って見ようとするとこけそうでこわくて自分では入れませんでした。でも、赤手拭の方から「出る時に見よつちやーけん、入つてみろ。」と言われてとまどいながら「はい」と返事をしました。山が近づいて来た時、赤手拭の方から背中を押され、入りました。でも、なかなか棒に昇き繩が入らなくて、やっと入ったと思つたら交代の人が来て交代しました。二回目は、しっかりと棒に繩を入れることから注意して昇きました。すると今度はうまくいき、しっかりと昇きことができました。この後2回昇きました。そ

の2回もうまく入ることができました。でも、兄ちゃんから入るの時、改めて大人のすこさが伝わってきました。流れ昇きが終わって帰ってくる途中で、明日の追山は後押しでせい一杯がんばろうと決めました。そして僕が詰所に戻って来ると、衛生の人が真剣な顔で僕に「明日は人数があんまおらんけん二番に入ってもらけん。大丈夫や？」と言われて最高でした。直会が終わってすぐ寝て、四時間すると起きて、まことにまった追山です。僕は、あの早い山に入るといふことでとても緊張してなかなか眠れませんでした。そして

兄ちゃんや町内の人に山の出入りを何回も聞いて、コースを最終確認して、山にのぞみました。二回山に入りました。そして、あと二回入らなくちゃいけない所も二回入れませんでした。昇いたことは緊張していたのであまり覚えていません。でも、走っている時、山足から火花がちっていたことは覚えていています。それだけ早かったです。

そして今年の西流れは25分代で一位でした。その一番にこうけんできて本当にうれしかった

ので、今年も頑張ります。

また、お父さん、お母さん、お兄ちゃん、お姉ちゃん、みんなのおかげで、今年も楽しく山笠を走ることができました。

来年の山笠、楽しみます。また、来年の山笠、楽しみます。

来年の山笠、楽しみます。

来年の山笠、楽しみます。

です。そして最後の山くずしでも、本音は少し見に行きたかったけども、若手としての仕事があつて行けませんでした。でも、一緒に仕事をしていた人は、何も言わずにしていたので自分が恥ずかしく思いました。僕は今まで小さい頃から出ていたけどこれだけドキドキワクワクした山笠は今年が初めてでした。本当に山笠を通して色々なことを学びました。これからも763年の伝統がある山笠。しっかり担っていききたいです。

福岡の祭り

●原中央中学校 二年

坂口 直明

観光客の人に「福岡といえは何か有名？」と聞かれたら、あなたは何と答えますか。福岡には、ラーメンやめんたいこなどの名物がある。そう答える人もいるだろうが、私だったら「山笠」と答えるだろう。

よくがなせ山笠というかを、よく考えてみた。

博多の山笠は、男の人がメインと思われがちだ。と考える人もわからなくはないが、ぼくは、そうとは思わない。女の人は、

かけで山笠を支えている。朝早の食事の準備や追い山の時に、水をまいて、男達の熱気を高めるいい役割をしていると思う。女の人達も女の山笠をしているんだなあと思う。

他にも、まだ山笠のみ力は、たくさんあると思う。子供山笠、東流、西流などに別れての山笠はとつても見ごたえがあるし、見ている自分たちも興奮してくる。テレビで見ると、生で見ると格別がいい！と私は思います。追い山が山笠のフィナーレを締めくくる。私は、追い山を見るのが一番の楽しみじゃないかと思えます。

ぼくが、この声が好きである。「おいさ！おいさ！」

この一声で、今年も山笠の男達が走り出す。

NTTドコモ九州賞

応援を支えに

●香椎第三中学校 一年

穴井 飛鳥

「いち、にーの、やあー！」

今年も「博多祇園山笠」が始まります。お尻に、「しめこみ」。頭に、「てのこい」。そし

て、水法被を着て、博多を走り回ります。

中学一年生の僕も、今年でもう、五回目。博多に住んでいないけど、特別に出させてもらっています。

初めて走った時は、しめこみが嫌で走りたくなかったけど、今では、博多の歴史ある山笠に出させていたただいて、感謝の気持ちで一杯です。

「追い山」の日は朝早くにも、かかわらず、たくさんの人たちが山笠を見に来ていました。「勢い水」をかけてくれる人や、僕の妹に「がんばれ！！」と応援してくれる人。そんな、大勢の人たちの応援を支えに、これからも走りつづけていきたいと思えます。

受け継がれ続ける山笠

●博多中学校 一年

与田 万紗子

私は今日、初めて追い山を見に行きました。生で見ると山笠は、テレビで見ると山笠よりも、はく力があつて、とても力強いものでした。今日、見た山笠を昇くためには、いろいろな、努力や、支えとなる人々

の思いが必要だと思えました。

「努力」という点では、追いの山の一週間ほど前から、中学生、小学生の山笠に関わる用事がある人は、早退するなどして、山笠に対して、とても努力をしていたと思います。

学生の他にも、私が帰る途中に、山笠の姿をした人や、「こりよんさん」と呼ばれる女性の人々が、一生懸命、山笠の準備にとりかかっている姿を見て、「博多の人は努力家でもあるんだな」と思いました。

「支えとなる人々」という点では、「こりよんさん」が中心となって、山笠に出る人々を支えていると、思いました。特にそう思ったのは、私が小学四年生のころでした。学校から帰っていると、私の住んでいるビルの中から、おにぎりをたくさんおにぎりのせたくおにぎりをたくさんおにぎりが出て来ました。その夜、母に「大きいおにぎりにおにぎりをのせたものを大家さんが持つていたけど、それ何？」と聞くと母は「山笠に出る人たちが集まる集会の時に食べるおにぎりを作ってたんじゃない？」と言いました。その言葉を聞

いた時、「山笠に出るためには、その山笠に出る人の支えになる人が必要なんだな」と思い、その支える人々に感激しました。その他に、小学生や中学生が早退できるのは、

小学校、中学校や山笠がある時期に早退する事を許可した、教育委員会、日本全国、テレビや生でわざわざ見てくれている、山笠を応援してくる、人々のおかげで、山笠になりました。と改めて感じました。また、山笠の始まりとして健康を維持するために行われ、今なお受け継がれている山笠は、私たちに元氣と力をくれる、博多にはなくてはならない行事だと思ひ、これからも受け継いでいきたいと思ひました。

若手とかき手

●博多中学校 一年

中村 洋介

今年の山笠は、はじめてが多かった。かき手と若手、かき手として今年は初めて山をかいた。十日の流がき、山の近くに行くことも怖い。一人じゃ入れない。すると父親

が、「洋介、入ってこい」とかたを押してくれた。左肩三番台下に入った。山の中は思ったより広い。肩には感じた事のないような重みがある。そして肩をたたかれ外にでた。

一回入ると慣れて何回も入った。その日肩がすこくいたくなり赤くはれた。山ってやっぱりすごいんだなあと思う。次は若手としての仕事で僕たちの町、大博町の中学生の仕事は小学生のお世話。今年からお世話されていたけど今年からはお世話する方。大博町は子供が多く多い日には最高三十六人もいた。お世話とは小学生を並べたり、小学生の直会の準備。失敗して赤手のこいからおこられたりもしたけどこれかれも恵比須流も大博町として山笠にこうけんしていききたい。

今年運動会でも三年を中心に山笠を行いました。山の絵から、組み立てまでを三年や地域の人と一緒にしました。まず学年を二つに分け、その中で「山台」「人形」「課題」「杉壁」のグループをつくり作業開始!!グループ内でのめめことや、協力がいっぱいありました。でもお互いを刺激しい、どちらの流れもよい山笠できました。

最初で最後の女子参加

●博多中学校 三年

山木 麻耶

山笠にかかわりたくても、かかわれなかった女子。山笠をつくったり、かついだりする感動を味わいたかった。

今年の運動会でも三年を中心に山笠を行いました。山の絵から、組み立てまでを三年や地域の人と一緒にしました。まず学年を二つに分け、その中で「山台」「人形」「課題」「杉壁」のグループをつくり作業開始!!グループ内でのめめことや、協力がいっぱいありました。でもお互いを刺激しい、どちらの流れもよい山笠できました。

山笠を運動会当日男子が昇きました。後押しは二年男子、台あがりには各取り締。グラウンドを半周走り、タイムを競います。結果はどうであれ、男子の顔はもちろん女子の顔も生き生きしていました。この感動はずっと心に残ると思います。片付けをするとき、何人かの女子は台上がりをしました。最初で最後の経験でした。

7月9日から博多の町に山笠がやってきました。今年の山笠は男子にとつてはもちろん女子にとつてはいつもとちがう山笠のような気がしました。今回の行事が山笠をもっともつと好きになりました。この行事、山笠がずっとつづくことをいのつています!! つづかせます!!

今年運動会でも三年を中心に山笠を行いました。山の絵から、組み立てまでを三年や地域の人と一緒にしました。まず学年を二つに分け、その中で「山台」「人形」「課題」「杉壁」のグループをつくり作業開始!!グループ内でのめめことや、協力がいっぱいありました。でもお互いを刺激しい、どちらの流れもよい山笠できました。

●博多中学校三年

持田 愛香

抱いて集う
のほせもん

NPO博多の風賞

山笠

●博多小学校 五年

金 草緑

私は、山笠を見た。何人もの男の人たちが山をかつぎ走ってゆく。

「重くないのだろうか。」

と、思った。みている私までも、自信、勇気がわいてきた。山笠はスピードをききそう。みんなが協力し山が走る。とても熱気にあふれていた。山笠はスピードをききそうだけでなく、見物客に力をあたえる力をもっている。不思議だな。山が一つ流れていくと、またもう一つ。海のかなみのように勢いがありはくりよくがあった。山笠は昔から伝

わってきた伝統の行事だ。私は、伝統行事が大好きだ。だから山笠もおもしろいと思う。私は山笠の練習もみた。練習だからといってだれも気はぬいていなかった。練習を本番と思いがばつていたのである。みんなの山笠のあとの楽しみはお母さんたちが、作ってくれたりよう理だと思ふ。山笠は少しきつい所もあるが、こんな楽しみがあるともつとやる気がわいてくるんだろうと思う。自信、勇気、あせそして協力できたとして、走る山はともかっこよくみえた。

わってきた伝統の行事だ。私は、伝統行事が大好きだ。だから山笠もおもしろいと思う。私は山笠の練習もみた。練習だからといってだれも気はぬいていなかった。練習を本番と思いがばつていたのである。みんなの山笠のあとの楽しみはお母さんたちが、作ってくれたりよう理だと思ふ。山笠は少しきつい所もあるが、こんな楽しみがあるともつとやる気がわいてくるんだろうと思う。自信、勇気、あせそして協力できたとして、走る山はともかっこよくみえた。

今年山笠では、去年とちがつて、子供としてではなくて、若手として初めて参加しました。初めはどんなことをするのかなど、とてもドキドキしていました。

しかし、実際やっていて、とてもおもしろいという事が分かりました。子供だと、食べてさつと帰れと言われていたけど、若手では、その後、いろいろ

なゲームでも盛り上がった。色々しゃべったりして楽しした。次に、僕が一番苦労したのは、走っているときでした。中一が僕一人しかいないのに、たくさんの子供のめんどろを見れていました。特に、小さい子が二、三人いて、ずつと手を引張って走っていました。中には、足が痛いなどでした。こして走っているときもありました。とても残念だったのは、子供めんどろを見ていて、一度も山につけなかったことです。肩合わせをしただけで、一度もかくことができなかったのが、すこく残念でした。

若手の初体験

●博多中学校 一年

白垣 耕平

今日の追い山では、若手の集合が早くなっていたのも、一つのちがいなんだと思えました。今日は、若手頭に、子供を一人でみてくれと言われ、いつもより、とてもきん張っていました。しかし、やり始めるといつもとかわらずに、しつかりとできました。やっぱり一番きつかったのは追い山でした。

若手のせんばい達は、とてもやさしくて、いつも僕にいろいろなことを教えてくれました。山笠が終わって、集合の時に、

取りしまりの人が、

「おれは、非常に悔しい。だが、ケガ人が出ずに終われたのよかった。」

と、言われました。その言葉には、いろんな気持ちもこもっているように感じました。話をしていると、大人の人達が泣き出しました。それは、タイムが悪かったからではなく、また山笠を当分できないからです。それを思うと僕も少しなみだが出てきました。

最後に、僕の心の中に決めたことは、来年はしっかりとかつげるようにして、土居流が少しでも早くなればと思います。来年の目標も決まって安心し、来年の山笠がとても楽しみになりました。

つらかった追善山

●博多中学校 一年

松井 勇太

僕は、今年から中学生なので、若手の一人になりました。僕には、お兄さんがいたので大変なことはわかってたけど、予想以上に、つらい仕事がいっぱいありました。ほかの人よりも早目にきて、いっしょうけん

めい努力しましたが、力仕事が多く、あまり僕のやることはありませんでした。やろうとしても必ず失敗してしまいました。だから来年は、もっと背を高くして、力がつくように努力して行きたいと思っていました。

そして、山笠があともうすぐで終わるころに、僕達、東流れは、追善山がありました。

しかも、僕のおじいちゃん追善山でした。僕のおじいちゃんは、昔から博多を愛していて博多だけの祭り、山笠には、目はなせないほど、愛していました。

でも、おじいちゃんは、山笠を見ることなく、死去しました。そして、今年の山笠で追善山が行われました。同じ町内の人達は、すごく悲しい顔をしていました。僕も、悲しかったです。そして、最後の追善の日がやってきました。その日も、僕達若手は、夜中の12時半に集まりました。すごい時間におきて、つらかったけど、それでも「最後の日だから」と、たえました。そして、長い時間をかけて、山笠は終わりました。終わった時には、とてもいい気分になりました。

ここまで耐えてこれたのも、おじいちゃんのおかげだと思います。背が小さくて、すこし子供あつかいされることもあったけど、

僕もすこしは、大人としての自覚がもてたんじやないかなと思います。

僕はあまり山笠は好きじゃなかったけど、今年初めての体験で、すこし山笠がすきになったんじやないかなと思います。

来年はもっといろいろな人からみとめられる若手になるように努力したいです。そして、天国のおじいちゃんに認められたいです。

祭りが育てる博多

●博多中学校 一年

藤瀬 香緒里

守り受け継いだ 松ばやしや山笠が悟す 友情の絆
人の道を きびしく優しく

これは、私が尊敬する上田雅利さんがつくった博多小学校校歌の二番の最初の歌詞です。私は特にこの歌詞が大好きです。博多の伝統行事であ

る松ばやしや山笠が、博多の町と博多の人を育て、そして祭りに育てられた人たちが、その祭りをしっかりと守って受け継いでいくのです。

私は小学校四年と五年の時に、博多どんたくで稚児舞を奉納する博多松ばやし稚児流で舞姫という大役をつとめました。八百二十余年の歴史をもつ伝統文化を受け継いだ満足でいっぱいでした。自分自身がとても成長したような感じでした。松ばやしという祭りによって、成長させてもらったと思います。

山笠では、中学になって男子は若手入りして、小学校の時とは違い、とてもたくましさを感じます。山笠が成長させるのだと思います。

山笠は男性の祭りですが、かげで支える女性の力も大きいと思います。昨年の小学校の子ども山笠で、女子は山笠の人形作りを頑張ったり、沿道でかけ声をかけたりして、みんな子ども山笠を盛り上げたこと思い出します。

祭りが育てる博多の町が大好きです。そして、祭りに育てられ、祭りを受け継いでいく博

多の人が大好きです。私は、そんな博多に生まれてよかったです。と思います。

「山笠」

●博多中学校 三年

若松 雄真

「オイサーオイサー」僕は声を出しながら右手にかき縄を持って、水にぬれ走っていました。

「二番入ります」

後押しの前から入って、見送りの二番棒にかき縄を吊して肩を入れ山をかついでいます。僕が今に残っている映像です。山笠はみんなが一緒にかついで後押しや先走りがあつて成立するので息が合っていないと速く動かせないと思います。

山笠は僕が知っている祭の中で一番やりがいがあつて楽しいと思います。それに、それぞれの流れのきまりやルールがあつて毎年でつづけることできちんとした大人に成長することができると思います。

僕にとつての山笠は、ルールを守れる大人になるための試練であり、大人になってからの新しい試練だと思っています。

NPO博多の風のあゆみ

平成 10年9月	任意団体「博多の風」設立 代表：大庭宗一
同年10月	第1回博多の風フォーラム開催 講師：松本龍氏（衆議院議員）
11年4月	第2回博多の風フォーラム開催 講師：倉田 真氏（毎日新聞編集局長）
同年10月	第3回博多の風フォーラム開催 講師：沢田幸二氏（九州朝日放送アナウンサー）
12年4月	第4回博多の風フォーラム開催 講師：坂口卓司氏（RKB毎日放送アナウンサー）
同年5月	大庭宗一と博多の風の仲間たち監修 『山笠の風』出版 同出版記念パーティ開催
同年5月	NPO（特定非営利活動法人）認証取得 理事長：大庭宗一
同年6月	NPO博多の風として登記
同年10月	第5回NPO博多の風フォーラム開催 講師：緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長）
同年11月	山笠交流会館建設提言書、福岡市長へ提出
13年4月	第6回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤豊彦氏（福岡銀行相談役）
同年5月	作文コンクール 「第1回 祭り童子集まれ！素文コンテスト」 実施（5/1～7/31）
同年7月	「NPO博多の風フォーラム」 福岡県21世紀記念事業認証取得
同年10月	福岡県21世紀記念事業 第7回NPO博多の風フォーラム開催 講師：後藤久義氏（博多祇園山笠振興会会長） 永吉和幸氏（毎日新聞社福岡総局長） 緒方邦博氏（プランニング秀巧社社長） 「第1回 祭り童子集まれ！素文コンテスト」 優秀作品表彰式
14年4月	第8回NPO博多の風フォーラム開催 講師：安達一成氏（毎日新聞社記者）
同年4月	「博多の風ホームページ」開設
同年5月	第1回 クリーン作戦開催
同年6月	「探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第2回 祭り童子集まれ！素文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第9回NPO博多の風フォーラム開催 講師：高橋慶彦氏（元プロ野球広島東洋カープ）
同年11月	第2回 クリーン作戦開催
15年4月	第10回NPO博多の風フォーラム開催 講師：永守良孝氏（RKB毎日放送株式会社 取締役）
同年5月	第3回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！素文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年11月	第11回NPO博多の風フォーラム開催 講師：奥田智子氏（九州朝日放送アナウンサー）
同年11月	第4回 クリーン作戦開催
同年6月	「第2回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催 作文コンクール 「第3回 祭り童子集まれ！素文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
16年4月	第12回NPO博多の風フォーラム開催 講師：ウー.Cリー氏（在福アメリカ領事館首席領事）
同年5月	第5回 はかたの町クリーン作戦（雨天中止）
同年6月	「第3回 探訪!! 博多祇園山笠 追山コース」開催
同年7月	作文コンクール 「第4回 祭り童子集まれ！素文コンテスト」 実施（6/1～9/2）
同年10月	「博多の風広報誌：風人」発行
同年10月	第13回NPO博多の風フォーラム開催

NPO特定非営利活動法人



〒812-0027

福岡市博多区下川端町8-16 -302

FAX 092-263-7188

E-Mail npokaze@jun0.ocn.ne.jp

URL <http://hakatanokaze.jp>

「NPO博多の風事業概要」

- 博多の町の伝統文化を次世代に引き継ぐ啓発事業
- 「博多の風フォーラム」の定期開催
- 博多の町の地域振興活動
 - 「探訪!!博多祇園山笠 追い山コース」事業
- 博多の町の地域清掃活動「クリーン作戦」事業
- 「祭り童子集れ！素文コンテスト」事業
- 山笠山台の技術継承活動事業
- 博多祇園山笠振興に関する活性化事業のお手伝い
- 青少年スポーツ振興に関する支援・協力事業

題字：新井光守

